

(トップページ : <http://mylibrary.maedal.jp/>)

(世界ランクシリーズ : <http://mylibrary.maedal.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー : 0 6 1 2

(注)本稿は2024年9月22日から26日まで4回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

2024.9.29

前田 高行

北欧がベスト5位独占、中東圏で唯一100位以内のカタール：報道の自由度

(世界ランクシリーズ その10 2024年版)

国連などの国際機関あるいは世界の著名な研究機関により各国の経済・社会に関するランク付け調査が行われている。これらの調査について日米中など世界の主要国及びトルコ、エジプト、イランなど中東の主要国のランクを取り上げて解説するのが「世界ランクシリーズ」である。

第10回の世界ランクは、ジャーナリストのNGO団体「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」(略称RSF)が発表した「報道の自由度2024(Press Freedom Index 2024)」をとりあげて比較しました。



RSF ホームページ : <https://rsf.org/en/index>

1. 「World Press Freedom Index」について

「国境なきレポーター(Reporters Without Borders)」は、1948年の世界人権宣言、及びこれに続く1950年の「人権と基本的自由の保護に関する会議」などで採択されたいくつかの憲章や宣言に触発され、各国の報道関係者が自発的に結成した非政府組織(NGO)である。フランスのジャーナリストが中心となって設立されたため、正式の組織名は Reporters Sans Frontieres であり、その頭文字をとってRSFと略称され本部はパリにある。

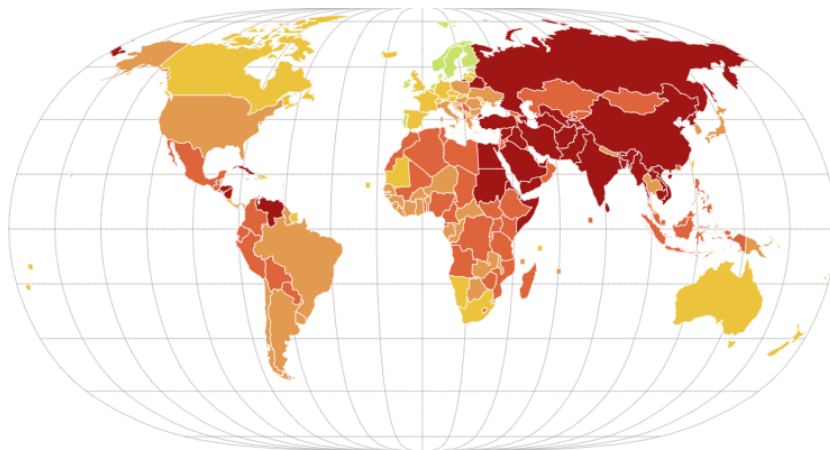
RSFは、世界各国で取材妨害を受け、時には生命の危険に晒されているジャーナリストを保護し、その障害を取り除く活動を行っており、その一環として2002年から毎年、報道の自由度に関する各国のランク「報道の自由の指標(Press Freedom Index)」を公表してきた。この指標はRSFが作成したアンケートに対して、世界各地の表現の自由のための擁護組織団体及び多数のジャーナリストが回答した結果を集計したものである。

2024年版 Press Freedom Index は世界172カ国の報道の自由度を指標化し、ジャーナリストに対する各国の対応ぶりを評価したものである。アンケートでは政治、経済、法制度、社会、安全の5つの分野にわたる合計117の設問に対し、100カ国以上のジャーナリストが回答したものを統計処理し、各国毎に0点から100点の得点が付けられている。最も自由度が高い場合が100点であり、最低の評価が0点である。

なおアンケートは毎年行われるため、直近に報道の規制または記者の逮捕などの政府の取材妨害があった国、或いはジャーナリストが誘拐・殺害に遭った国についてはその年のランクが低くなる傾向がある。RSF 自身は、このランクは「報道の質」の良否を示すものではない、と断っている。

RSF のレポートでは点数(ポイント)に応じて各国の自由度を下記の5つに分類し色分けをした世界地図を掲載している。

- (1) 緑色：100～85ポイント(Good situation)
- (2) 黄色：84～70ポイント(Satisfactory situation)
- (3) 橙色：69～55ポイント(Noticeable problems)
- (4) 緋色：54～40ポイント(Difficult situation)
- (5) 赤色：39ポイント以下(Very serious situation)



(世界177か国中で日本は70位、北朝鮮最下位、中国172位！)

2. 2024年の世界ランク及び前年との比較(末尾表 10-T01 参照)

2024年の報道の自由度世界1位はノルウェーで、そのスコアは91.89である。これに続く世界5位までにはデンマーク、スウェーデン、オランダ及びフィンランドが入っており全て北欧諸国である。ノルウェーは2017年以来8年連続世界1位である。

主要な国々の世界ランクを見ると、米国はスコア66.59で世界55位、日本はスコア62.12で世界70位である。スコアと順位を昨年と比較すると、米国はスコアが4.6

3悪化し順位は10ランク下がっている。日本もスコアは1.83、順位は2ランク下がっている。

日本以外のG7の国々はドイツ(10位)、カナダ(14位)、フランス(21位)、英国(23位)、イタリア(46位)、米国(55位)といずれも日本より報道の自由度が高いとされている。またBRICs諸国は南アフリカ(38位)が際立って高く、インド、ロシア及び中国は159位、162位及び172位と非常に低い順位にとどまっている。中国は最下位(177位)の北朝鮮に近い最低レベルに評価されている。

中東諸国を見ると、トップはカタールで同国の世界順位は84位と世界のほぼ中位である。しかし同国以外の中東各国はいずれも100位以下であり、イスラエルが101位である。昨年の順位はイスラエルが97位、カタールは105位であり、今年は逆転している。後にも触れる通り近年カタールに対する評価は急速にアップしており、反面、イスラエルのランクは年々下がっている。

カタールはアラビア語圏ではもっとも人気の高いアル・ジャジーラ放送の拠点であり、欧米諸国からは国際報道姿勢を高く評価されている。特に近年はアフガニスタンのタリバン政権或いはパレスチナガザ地区を実効支配しているハマスに事務所開設を認めるなど、かなり大胆な開放政策を取っていることが評価されているようである。

その他主要な中東諸国とそのランクは、トルコ(158位)、UAE(160位)、サウジアラビア(166位)、エジプト(170位)などであるが、いずれも自由度の評価は最低クラス(評価度:Very serious situation)である。またカタール以外はいずれも前年のスコアを下回っており、たとえばUAEは昨年の42.99から今年は30.62と大幅に下落しており、エジプト(33.37→25.10)、サウジアラビア(32.43→27.14)、イスラエル(57.57→53.23)、イラン(24.81→21.30)と軒並み下落している。

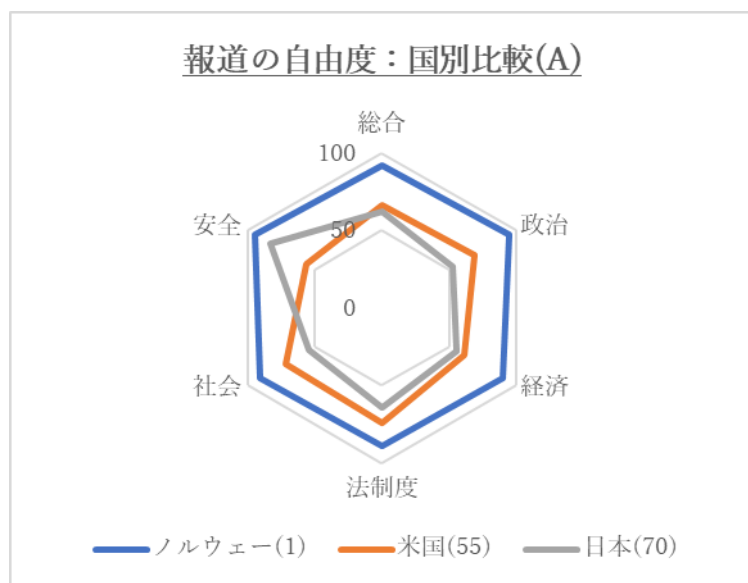
3. 分野別の自由度比較(レーダーチャート)

報道の自由度はPolitical context(政治)、Economic context(経済)、Legal framework(法制度)、Sociocultural context(社会)、Safety(安全)の5つの分野について各国の対応を評価したものである。ここでは(1)ノルウェー(総合世界1位)、米国、日本、(2)インド、ロシア、中国のBRICS3カ国、及び(3)イスラエル、カタール、サウジアラビアの中東3か国の分野別評価をレーダーチャート方式で比較する。

レーダーチャートは外側になるほど自由度が高く、中心に近づくほど自由度が低い。各分野のポイントを結ぶ輪が各国の項目別自由度の状況を示している。レーダーチャートの輪が外側に広がっているほど報道の自由度が高く、また輪の形が真円に近いほど各分野の自由度が平均していることを示している。

(すべての面で最高の評価を受けるノルウェー！)

(1) ノルウェー、米国、日本



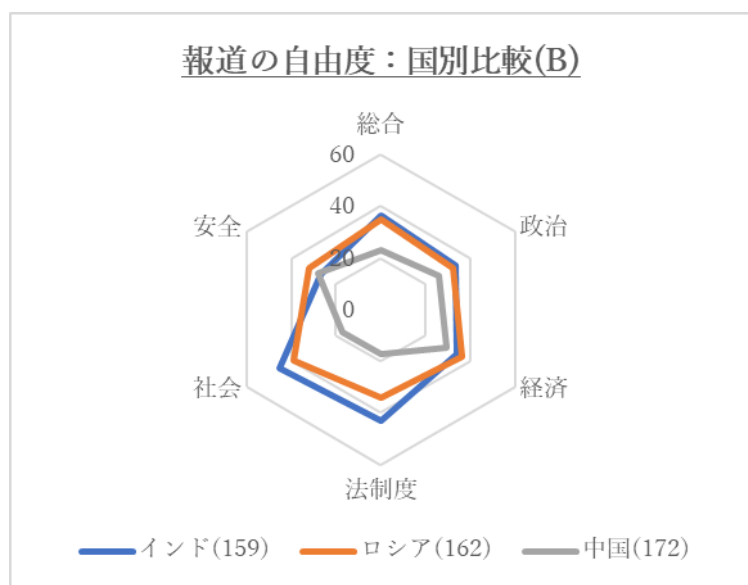
総合順位はノルウェーが世界1位、米国55位、日本70位である。ノルウェーは5つの分野のうち政治、社会、安全の3分野で90点を超え、他の2分野も89点台であり、総合点を含むすべての分野で85ポイント以上に与えられる最高評価 Good situation を得ている。

分野別に見ると政治分野では3カ国の評価点はそれぞれノルウェー94.87、米国69.03、日本53.07である。5段階評価ではノルウェー

が最高評価 Good situation に対し、米国は2段階低い Noticeable problems、日本はさらに1段階低い Difficult situation と評価されており、3カ国の格差は大きい。ちなみに日本の政治面の報道の自由度は他の4分野の中で最も低く、その一因としてRSFは国会記者クラブの閉鎖性を挙げている。経済、法制度、社会の3分野では3カ国の評価は政治分野と同様の傾向を示している。これに対して安全分野の評価は、ノルウェー94.74に対し、米国は56.31、日本は82.95であり、米国の評価がノルウェー、日本に比べ非常に低いのが特徴である。

(社会・法制度の評価が高いインド、低い中国！)

(2) インド、ロシア、中国



BRICS 経済グループの中核をなすインド、ロシア及び中国3カ国の総合順位はそれぞれ159位、162位及び172位であり3カ国ともレベルが低く特に中国は世界最下位クラスである。

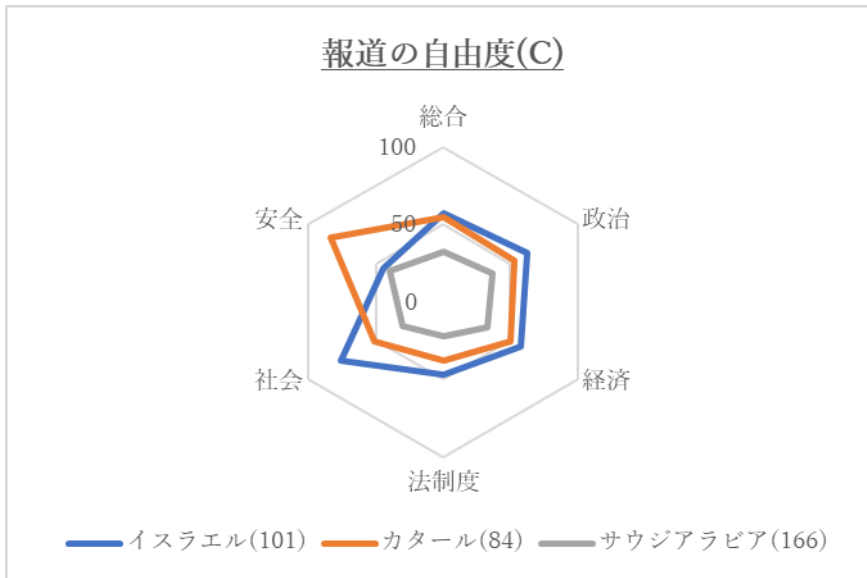
3カ国の自由度を分野別で比較すると、政治及び経済分野ではインドとロシアが30点台前半でほぼ同じであるが、中国は20点台にとどまっている。また安全分野ではロシア31.82、中国27.87、インド

27.12であり、上記(1)のノルウェー、米国或いは日本に比べ極めて評価が低い。法制度及

び社会分野の自由度は中国が他の2か国に比べ大きく後れを取っている。社会分野の場合、インド 45.27、ロシア 38.94 に対し中国の評価は 17.07 である。

(安全の評価が高いカタール、すべての面で劣るサウジアラビア！)

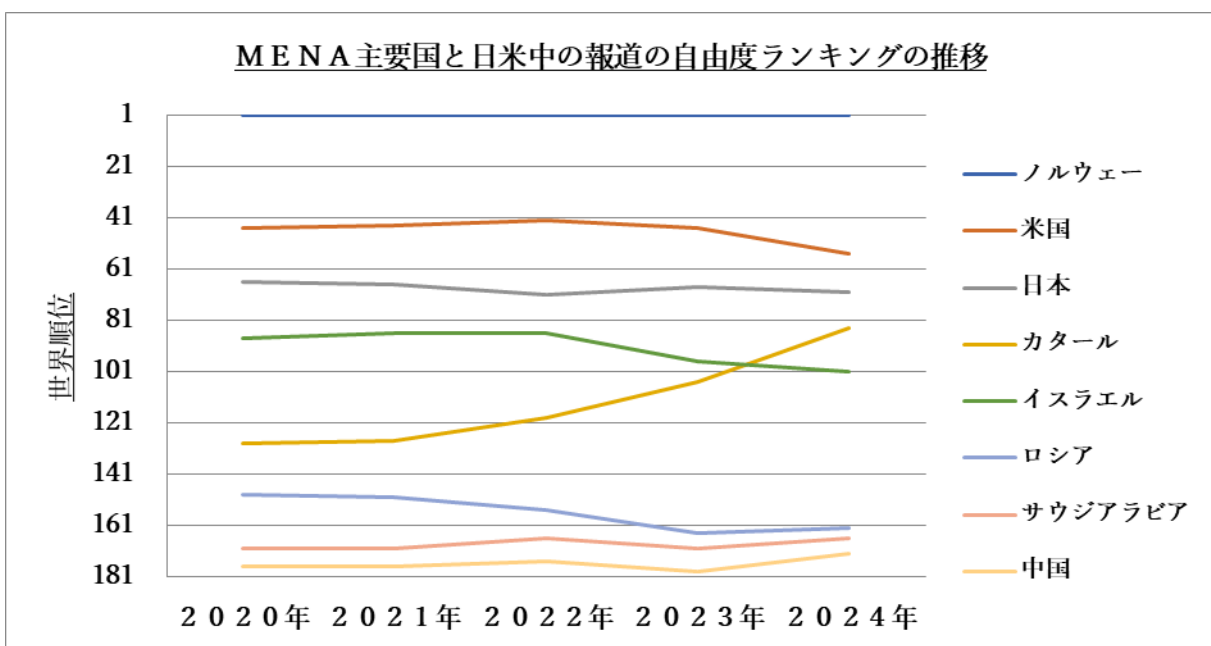
(3) カタール、イスラエル、サウジアラビア



総合順位はカタール 84 位、イスラエル 101 位、サウジアラビア 166 位である。政治、経済、法制度及び社会の4分野はいずれもイスラエルがトップであり、カタールがこれに次ぎ、サウジアラビアは最も低く総合順位と同じ傾向を示している。社会分野ではイスラエル 76.14、カタール 51.14、サウジアラビア 30.11 とイスラエルが米国並みの高い得点をあげている。一方安全分野ではカタール 83.93、イスラエル 44.3、サウジアラビア 39.8 であり、カタールは日本を上回る評価を得ており、イスラエルあるいはサウジアラビアに比べ群を抜いた得点である。

(ノルウェーが連続世界一位、躍進著しいカタール！)

4. 日米中と中東主要国の世界ランクの推移(2020年~2024年)



世界一位のノルウェーに加え日本、米国、ロシア、中国及び中東3か国(イスラエル、カタール及びサウジアラビア)の2020年から2024年までの5年間の世界ランクの推移を見ると、ノルウェーは5年連続でトップを維持している。

米国の世界順位は45位(20年)→44位(21年)→42位(22年)→45位(23年)→55位(24年)と2022年まで毎年少しずつ順位を上げたものの、昨年から今年は連続してランクが下がり、今年はそれまでの40位台から50位半ばに下落している。日本の順位は66位(20年)→67位(21年)→71位(22年)→68位(23年)→70位(24年)と変化しており、70位前後で推移している。

中東のイスラエルは2020年から22年まで80位台後半であったが、2023年、24年と下落傾向が止まらず、2019年は97位に急落した。今年はずいに100位以下に転落、2020年に比べて13ランクも下落している。イスラエルとは対照的にカタールは129位(20年)→128位(21年)→119位(22年)→105位(23年)→84位(24年)と2022年から24年までの3年間で大きく躍進、ついにイスラエルを追い抜き100位以内に上昇している。

ロシアとサウジアラビアと中国は過去5年間150位以下にとどまっており特にロシアは2021年から23年にかけて大きく落ち込んでいる。中国は5年間を通じて170位台にとどまり、特に2023年は最下位の北朝鮮に次ぐ179位と言う世界最低のレベルに落ちている。なおこれら3か国の2024年の世界ランクはいずれも前年より2~7ランク上がっているが、これは評価対象国数が180ヶ国から177カ国に減ったためであり、ポイントで比較するとロシア及びサウジアラビアは前年より悪化している。

(完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maedal@jcom.home.ne.jp

報道の自由度(Press Freedom Index)ランキング

2024年			2023年		2024/2023年	
世界順位	国名	ポイント	世界順位	ポイント	順位	ポイント
1	ノルウェー	91.89	1	95.18	0	▲ 3.29
2	デンマーク	89.60	3	89.48	1	0.12
3	スウェーデン	88.32	4	88.15	1	0.17
4	オランダ	87.73	6	87.00	2	0.73
5	フィンランド	86.55	5	87.94	0	▲ 1.39
最下位 (177位)	北朝鮮	20.66	最下位 (180位)	21.72	-	▲ 1.06
55	米国	66.59	45	71.22	▲ 10	▲ 4.63
62	韓国	64.87	47	70.83	▲ 15	▲ 5.96
70	日本	62.12	68	63.95	▲ 2	▲ 1.83
159	インド	31.28	161	36.62	2	▲ 5.34
162	ロシア	29.86	164	34.77	2	▲ 4.91
172	中国	23.36	179	22.97	7	0.39
	(中東主要国)					
84	カタール	58.48	105	55.28	21	3.20
101	イスラエル	53.23	97	57.57	▲ 4	▲ 4.34
140	レバノン	41.91	119	50.46	▲ 21	▲ 8.55
158	トルコ	31.60	165	33.97	7	▲ 2.37
160	UAE	30.62	145	42.99	▲ 15	▲ 12.37
166	サウジアラビア	27.14	170	32.43	4	▲ 5.29
170	エジプト	25.10	166	33.37	▲ 4	▲ 8.27
176	イラン	21.30	177	24.81	1	▲ 3.51

- ポイント別評価：
- (1) 100～85ポイント(Good situation)
 - (2) 84～70ポイント(Satisfactory situation)
 - (3) 69～55ポイント(Noticeable problems)
 - (4) 54～40ポイント(Difficult situation)
 - (5) 39ポイント以下(Very serious situation)

Source: Reporters Without Borders(RSF)